

目指す将来像

水郷の恵みを未来につなぐ
人と自然が共生する流域づくり

▼2026-2030年度(短期)

▼2031-2035年度(中期)

▼～2050年度(到達目標)

🏗️ 基盤構築・実施期
地域の特色を活かした取組の進展

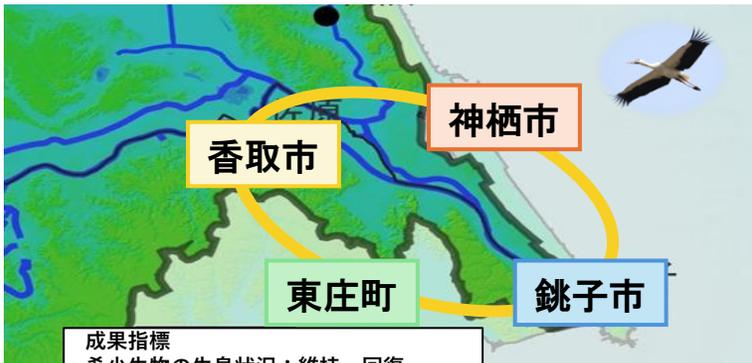
🌿 本格実施・拡大期
魅力ある地域づくりの広がり

🌳 持続・発展期
人と自然が共生する社会の実現

3つの基本目標と実現イメージ

【目標①】生物多様性の保全・創出

(ネイチャーポジティブの実現)



成果指標
・希少生物の生息状況：維持・回復
・ヨシ原・ワンド・干潟面積：継続的増加
・水質・底質：改善

【目標②】地域振興と経済活性化

神栖市
コウノトリと
ヤマトシジミの里

銚子市
ジオパークと
自然再生地の連携

香取市
水郷文化と自然の融合

東庄町
ヨシ原保全の
モデル地域

💰 経済効果

- ・エコツアー参加者：0名→●名/年
- ・地域ブランド確立：特産品売上向上
- ・企業連携：0団体→●団体
- ・雇用創出：ガイド、商品開発、観光関連

【目標③】環境学習・人材育成の推進

環境学習の段階的拡大

短期(2026-2030)
中学生中心
200名/年

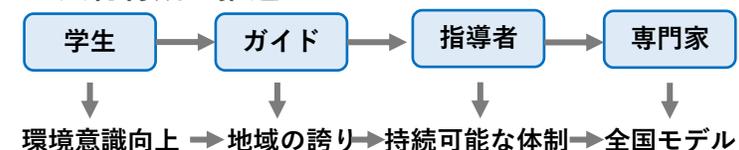
中期(2031-2035)
小学生、高校生参加
350名/年

長期(-2050)
大学生や多世代参加
500名/年

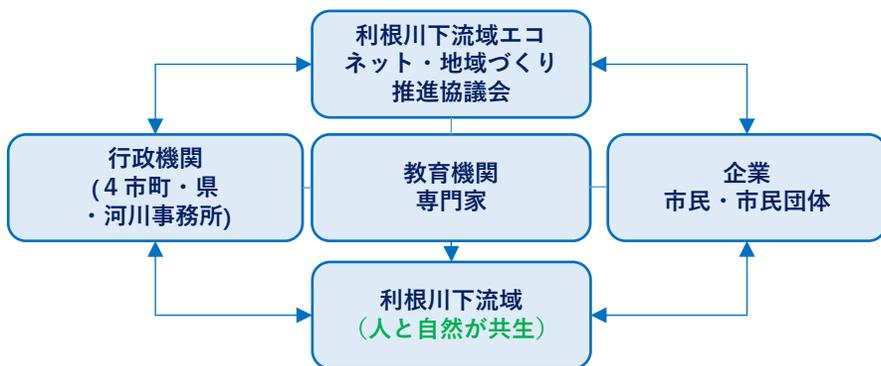
4つの中学校での実践

波崎第二中 (神栖市)	銚子西中 (銚子市)	香取中 (香取市)	東庄中 (東庄町)
コウノトリ観察 干潟調査	ジオパーク学習 たも網体験	歴史文化学習 水辺・里山体験	ヨシ焼き体験 ヨシ製品づくり

人材育成の推進

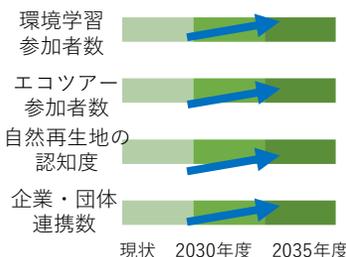


推進体制と連携の輪



成果の見える化(KPI)

定量的指標の推移



定性的効果

- ✓ 希少生物の生息状況の維持・回復
- ✓ 地域住民の環境意識向上
- ✓ 自治体間連携の強化
- ✓ 持続可能な運営体制の構築
- ✓ 全国モデルとしての認知度向上

利根川下流域2050年の姿

コウノトリが空を舞い、子育てする姿が日常の風景
四季折々のヨシ原が広がり、コジュリン、オオセッカなど
多様な生物が息づく
水郷の歴史と文化を体験できる観光地として国内外から人
が訪れる
子どもたちが自然の中で学び、地域に誇りを持つ
企業が環境保全活動に参画し、地域経済が活性化
4市町が連携し、全国のモデルとして発信
「人と自然が共生する持続可能な社会」の実現

利根川下流域エコネット・地域づくりアクションプラン

～水郷の恵みを未来につなぐ 人と自然が共生する流域づくり～

令和8年2月

利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会

Contents

1. はじめに
2. 地域の現状と課題
3. アクションプラン
4. 利根川下流域自然再生事業エリアと地域連携例
5. おわりに



1

はじめに

アクションプラン策定の背景と目的

背景

- ・利根川下流域は、水郷として河川では日本最大級のヨシ原が広がり、コウノトリ、コジュリン、オオセッカ、ヒヌマイトトンボ、ヤマトシジミなど希少かつ多様な生物の生息・生育・繁殖の場となっている。
- ・平成25年からは3市1町のエリアを対象に自然再生事業を進め、その成果として多様な生物が生息する良好な環境が形成され、コウノトリが定着・繁殖するまでに至っている。

目的

- ・本アクションプランは、これまでの取組を発展・進化させ、歴史ある水郷のポテンシャルを最大限に活かし、ネイチャーポジティブの実現と魅力ある地域づくりの融合を図る広域連携のモデルを目指すものである。

計画の位置づけ

01

利根川下流域エコネット・
地域づくり推進協議会の行
動計画

02

関東エコロジカルネット
ワーク推進協議会の生態
系ネットワーク形成基本
計画との連携

03

各自治体の総合計画・環境
基本計画等との整合

対象地域と計画期間

対象地域



- ・茨城県神栖市
- ・千葉県銚子市
- ・千葉県香取市
- ・千葉県東庄町

計画期間と目標

1

短期 2026-2030年度 地域の特色を活かした取組の進展
基盤構築・パイロット実施

主な内容: 体制整備、試行事業

2

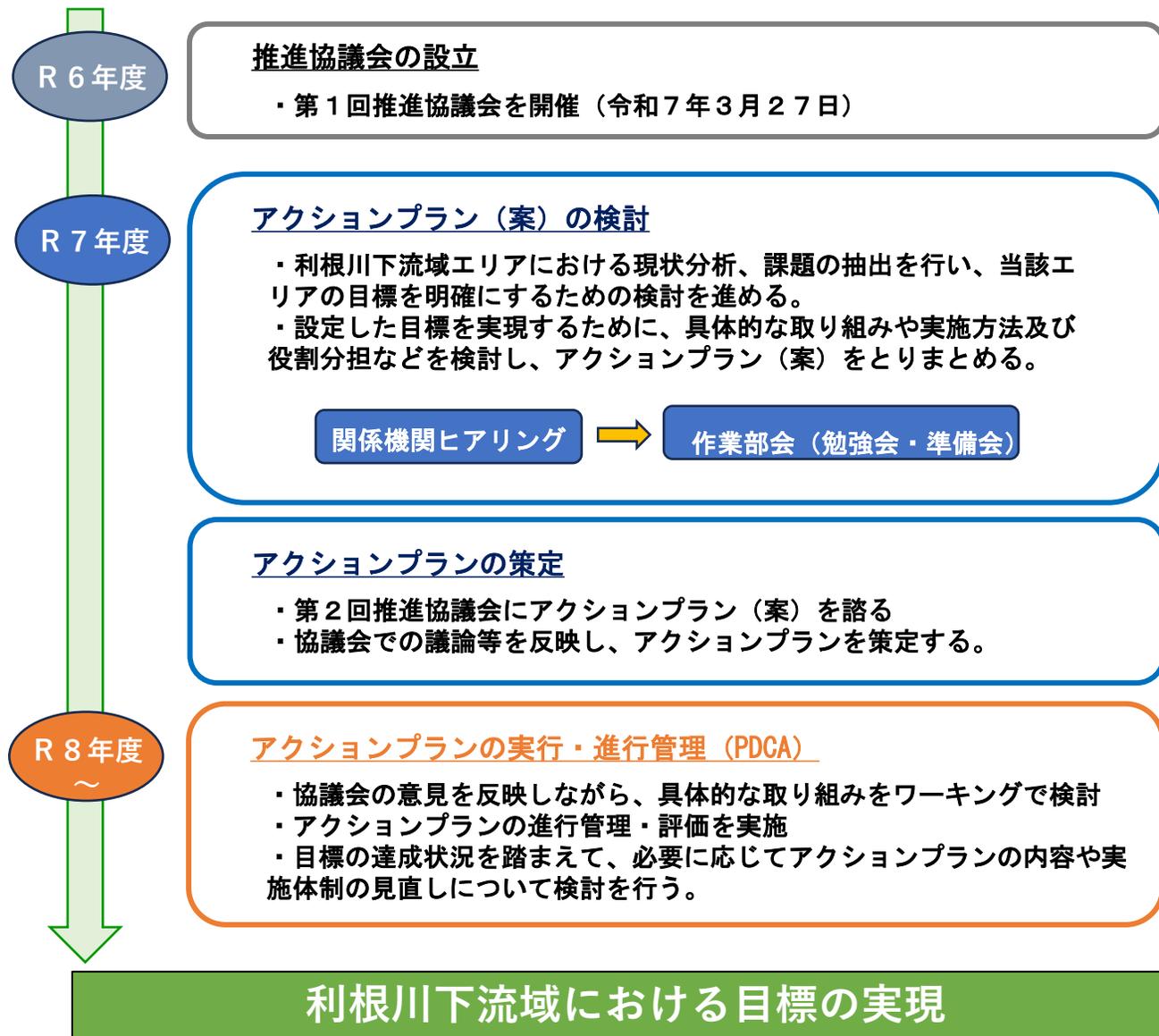
中期 2031-2035年度 魅力ある地域づくりの広がり
本格実施・拡大

主な内容: 取組本格化、効果拡大

到達目標 ~2050年度 人と自然が共生する社会の実現
持続・発展



アクションプランスケジュール





2

地域の現状と課題

自然環境



コウノトリ



ヤマトシジミ

神栖市（川尻・矢田部地区）

主要生物: コウノトリ、ヤマトシジミ、ニホンウナギ、ミズゴマツボ、シオクグ、オオクグ、ヒヌマイトトンボ

銚子市（船木・椎柴地区）

主要生物: シラスウナギ、ボラ、マハゼ、ハマガニ、ミズゴマツボ、カモメ、ヒヌマイトトンボ

香取市（小見川・高浜地区）

主要生物: チュウヒ、オオセッカ、コジュリン、カンムリカイツブリ、ニホンウナギ、ノウルシ、ノカラマツ

東庄町（東庄Ⅰ・Ⅱ地区）

主要生物: コジュリン、オオセッカ、ニホンウナギ、エドハゼ、シオクグ、オオクグ



コジュリン



オオセッカ



ヒヌマイトトンボ



歴史・文化資源

神栖市：息栖神社、山本家住宅、波崎の大タブ

香取市：香取神宮、佐原の大祭、佐原の町並み、水の郷さわら、田園空間博物館

銚子市：犬吠埼灯台、銚子ジオパーク

東庄町：笹川の神楽、天保水滸伝の舞台、東大社式年神幸祭



産業資源

神栖市：ピーマン、米

香取市：発酵食品、米、さつまいも、マッシュルーム、各種イベント・祭り

銚子市：醤油産業

東庄町：SPF豚、いちご、醤油、ポーク&ビア夏祭り、ふれあい祭り

各自治体の現状と課題

項目	神栖市	銚子市	香取市	東庄町
自然再生地	川尻・矢田部地区	船木・椎柴地区	小見川・高浜地区	東庄Ⅰ・Ⅱ地区
主要生物	コウノトリ、ヤマトシジミ、ヒヌマイトトンボ	シラスウナギ、カモメ、ヒヌマイトトンボ	チュウヒ、オオセッカ、コジュリン、カンムリカイツブリ	コジュリン、オオセッカ、タナゴ類
特徴	コウノトリが定着・繁殖、干潟環境、ヨシ原環境	中学生のイメージを設計に反映しR5年完成、浅場、ヨシ原再生	ヨシ原再生、貴重な鳥類確認	ヨシ焼きをR4年から中学生も参加して毎年実施
環境学習実績	波崎第二中学校（令和5年～継続）	銚子西中学校（令和4年～継続）	香取中学校（令和7年度開始）	東庄中学校（令和2年～継続）
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・観察場所の安全性確保 ・継続的な保護活動体制 ・一般向けPRの範囲設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通アクセス改善 ・ガイド人材確保 ・継続的な指導體制 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全と観光のバランス ・関係部署間の連携 ・人材確保・育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算確保 ・人材確保 ・育成 ・アクセス改善

地元中学生からの意見・提案

項目	神栖市	銚子市	香取市	東庄町
対象中学校	波崎第二中学校（令和5年～継続）	銚子西中学校（令和4年～継続）	香取中学校（令和7年～開始）	東庄中学校（令和2年～継続）
利根川がどのような姿になればよいと思いましたが。	<ul style="list-style-type: none"> ・生物が住みやすく自然が豊かで素晴らしい姿・様々な生き物が暮らしやすく自然と共に暮らしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・綺麗な川・野鳥や魚類が住みやすい川 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりきれいで、観光客もくるような姿・これからは専門家だけでなく、地域全体できれいにしていけるのがいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物が行き来するようになってほしい・自然豊かな姿・観光に使いヨシを整備する関係
皆さんが住んでいる市や町の人々が利根川へ行ってみたいくなるようなアイデアを教えてください。（第6回シンポジウム後）	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター等を作って、駅などに掲示する。 ・利根川でツアーをする。 ・イベント／祭りをを行う。 ・利根川のアクティビティを作って遊びに来てもらう。 ・体験学習で学んだことをチラシやSNSで知ってもらう。 			

利根川の自然再生地を活用した学校連携について

項目	神栖市	銚子市	香取市	東庄町
現在の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・波崎第二中学校（令和5年～継続）での学習 ・トンボ観察会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・銚子西中学校（令和4年～継続）での学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・香取中学校（令和7年度開始）での学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・東庄中学校（令和2年～継続）での学習 ・ヨシ焼き体験参加
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリ観察 ・コウノトリの愛称募集 ・干潟調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生設計参画の自然再生地 ・中利根漁協協力のもと、たも網体験 ・内水面水産研究所協力のもと、魚類について学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然再生地での初回体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨシ焼き体験 ・学生によるヨシ製品づくり体験
今後の展望 ※3	<ul style="list-style-type: none"> ・足環の装着イベントへの学生の参加 ・ヤマトシジミ生育調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク学習との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・水郷小見川青少年自然の家との連携 ・大学生の研究フィールドとしての活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習の継続的实施 ・ヨシ焼きの継続的实施
課題・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリ観察拠点整備、安全確保 ・人工巣塔の増設 ・限られた資源での環境学習の実施方策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドへの勉強会開催 ・教員の負担軽減 ・専門コーディネーターの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の負担軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続性の確保

自然再生地を活用した地域振興・観光活用

項目	神栖市	銚子市	香取市	東庄町
既存観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ・息栖神社 ・山本家住宅 ・波崎の大タブ ・掘り下げ田 	<ul style="list-style-type: none"> ・犬吠埼灯台 ・銚子ジオパーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・香取神宮 ・佐原の大祭 ・佐原の町並み ・水の郷さわら ・田園空間博物館 	<ul style="list-style-type: none"> ・笹川の神楽 ・天保水滸伝の舞台 ・東大社式年神幸祭
地域特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・ピーマン ・米 ・黒宝シジミ 	<ul style="list-style-type: none"> ・水産加工品 ・醤油 ・酒造 	<ul style="list-style-type: none"> ・醸造品 ・米 ・さつまいも ・マッシュルーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・SPF豚 ・いちご ・醤油
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリ観察拠点整備 ・河川内人工巣塔設置検討 ・シジミブランド化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークエコサイト認定 ・保全イベントの開催 ・野鳥観察客誘致 ・生物調査のイベント化 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財との複合活用 ・エコツーリズム推進 ・フィルムコミッション活用 ・リラクゼーション場 ・外来種駆除 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然再生地でのドローン航空ショーの開催 ・利根川周辺の生態系や環境保全に関するセミナー、ワークショップの開催
課題・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・人工巣塔の増設、足環装着等にかかる費用の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場確保 ・案内看板設置 ・アクセス改善 ・ガイド育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全と観光のバランス ・駐車場、遊歩道等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携

企業・団体連携

項目	神栖市	銚子市	香取市	東庄町
協力意向企業・機関	<ul style="list-style-type: none"> 千葉科学大学 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉科学大学 銚子ジオパーク推進協議会 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉科学大学 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉科学大学 茅葺職人
市民団体・NPO	<ul style="list-style-type: none"> 波崎愛鳥会 	<ul style="list-style-type: none"> 銚子ジオパーク市民の会 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア集団山人会 	<ul style="list-style-type: none"> 検討中
期待する内容	<ul style="list-style-type: none"> 人口巣塔の増設や足環装着の費用負担 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保護団体との連携 農業を含む水を利用する企業、団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信の連携 活動団体による環境イベント、自然観察会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 生態系や環境保全に関するセミナー、ワークショップの開催

共通課題

01 継続性の確保：自然再生事業終了後の
持続的な取組体制

03 地域連携：自治体間・関係機関との連
携強化

05 予算確保：持続可能な財源の確保

02 人材育成：指導者・ガイド・サポーター
一人材の確保・育成

04 情報発信：地域内外への効果的な情報
発信



3

アクションプラン



水郷の恵みを未来につなぐ 人と自然が共生する流域づくり

基本目標



目標1：生物多様性の保全・創出（ネイチャーポジティブの実現）

希少生物の生息環境保全

エコロジカルネットワークの形成

自然再生地の適切な維持管理



目標2：地域振興と経済活性化

自然環境を活かした観光振興

地域特産品のブランド化

企業・団体との連携による経済効果創出



目標3：環境学習・人材育成の推進

次世代を担う人材の育成

地域住民の環境意識向上

持続可能な体制の構築

各自治体の特色を活かした取組

神栖市：コウノトリとヤマトシジミの里

コウノトリ繁殖地としてのブランド化
干潟環境を活かした体験学習
ヤマトシジミの生育調査

香取市：水郷文化と自然の融合

歴史・文化資源との連携
水上スポーツ環境の整備
水辺と里山の環境学習の推進

銚子市：ジオパークと自然再生地の連携

銚子ジオパークとの一体的活用
地質・生物多様性・文化の総合学習、ESDの推進
インバウンド対応の推進

東庄町：ヨシ原保全のモデル地域

ヨシ原景観の観光資源化
ヨシ活用製品の開発
環境学習の継続・発展

自然環境保全に関する共通取組

継続的なモニタリング

- ・各自治体の自然再生地等における生物調査の継続
- ・市民参加型モニタリングの実施
- ・調査結果の共有・分析



生息環境の維持・改善

- ・河川区域内も含めたコウノトリ人工巣塔の増設検討
- ・干潟環境の保全活用
- ・ヨシ焼きの継続実施への協賛
- ・ヨシ原の適切な管理
- ・外来種駆除活動
- ・自然再生地の植生管理
- ・水質・底質の改善
- ・野鳥営巣環境の保全活用

環境学習・人材育成に関する取組

体験学習プログラムの充実

- ・ 座学：利根川の自然環境、生物多様性の重要性、集水域の水環境の理解促進
- ・ 野外学習：野鳥観察、植物調査、水質調査、干潟体験学習、里山学習
- ・ 成果発表：シンポジウムでの発表、レポート作成
- ・ プログラム：コウノトリ観察、干潟調査、歴史学習との連携、ジオパーク学習、地質観察、ヨシ焼き体験、ヨシ製品づくり、水上体験、里山体験

対象学年の拡大方針

- ・ 短期(2026-2030年度)：中学生を中心
- ・ 中期(2031-2035年度)：小学校高学年、高校生へ段階的に拡大
- ・ 長期(2036-2050年度)：大学生を含む幅広い世代への展開
アカデミックツアーの開催

指導者・ガイド人材の育成

- ・ 指導者養成講座の開催
- ・ 教材、資料の標準化および共有
- ・ 自治体職員の講師派遣
- ・ ガイド認定制度の創設
- ・ 人材バンクの構築
- ・ 相互交流・研修の実施

地域振興・観光活用に関する取組

Part 01

エコツーリズムの推進

- 春：コウノトリ観察、
ヨシ原散策ツアー
- 夏：干潟体験、
水上スポーツツアー
- 秋：野鳥観察、収穫体験ツアー
- 冬：ヨシ焼き見学、
地域グルメツアー

Part 02

地域特産品のブランド化

- ・ヨシ製品（東庄町）の開発、
販売
- ・地域特産品（農産物、畜産物、
水産物、醸造品等）の付加価値
向上、連携
- ・ちょうしブランドとの連携
- ・小江戸佐原ブランドとの連携

Part 03

情報発信・PR活動

- エコネットの取組み内容の周知徹底
- ・各自治体の広報誌、HP、SNS等での
定期的な情報発信
- ・メディア、報道機関への積極的な情
報提供
- ・イベント、祭りでのPR
- 統一事項
- ・ブランドロゴ、キャッチフレーズの
統一（公募等）
- ・共通パンフレット、動画の制作
- ・公式ウェブサイト、SNSの運営

企業・団体連携に関する取組

包括連携協定の締結

千葉科学大学、銚子ジオパーク推進協議会：

調査研究、人材・講師派遣

銀行、企業：CSR活動、資金協力、

広報・PR活動

地域企業（醤油メーカー、農業法人等）：

人材・講師派遣

調査研究への協力

商品開発・販売協力

資金・物品提供

広報・PR活動

市民団体・NPOとの協働

■対象

・波崎愛鳥会

・ボランティア集団山人

他各地域の環境保全団体

■協働内容

・環境学習サポート

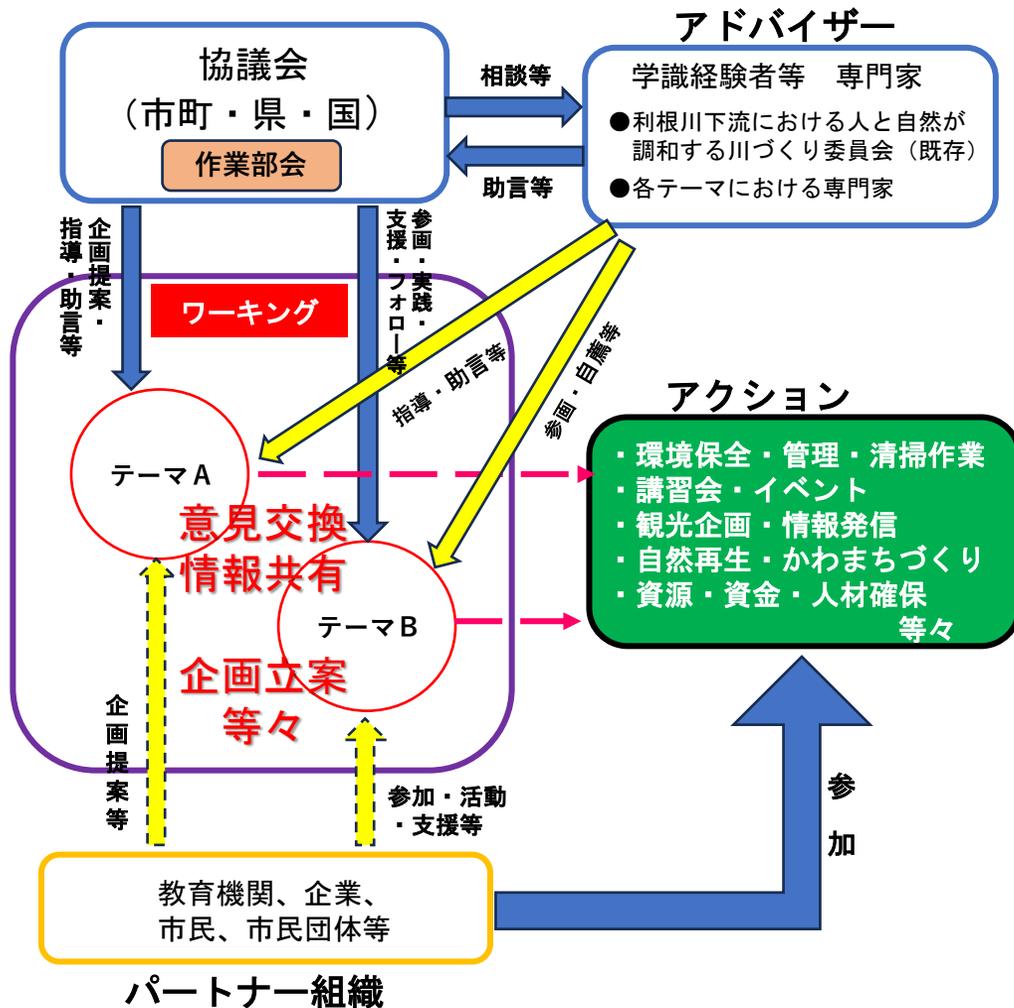
・調査・保全活動

・イベント企画・運営

・情報発信

推進体制と役割分担

推進体制



主体別役割分担

協議会

全体調整、方針決定、進捗管理

各自治体

地域特色事業の実施、市民調整、情報発信

河川事務所

技術支援、調整、事業企画支援、情報発信支援

県

広域調整、制度支援、情報発信支援

専門家

技術支援、人材提供

教育機関

活動参加、調査研究、人材提供

企業

活動協力、資金・人材提供

市民・市民団体

活動参加、情報発信、現場サポート

実施ロードマップ：短期（2026-2030年度）

地域の特色を活かした取組の進展

基盤構築・実施期の主体別役割

各自治体

- ・ 自然環境保全活動の検討、試行
- ・ 環境学習プログラム支援、対象校の段階的拡大（+1~2校）
- ・ 観光プログラム検討
- ・ 地域特産品開発の検討
- ・ 情報発信、PR活動
- ・ 庁内連携体制の構築

県

- ・ 人材育成、講師派遣支援
- ・ 情報発信、PR活動

河川事務所

- ・ 環境モニタリング継続
- ・ 環境学習サポート
- ・ 統一案内看板企画、設置
- ・ 安全対策実施
- ・ 情報発信、PR活動
- ・ 事業企画支援

教育機関

- ・ 大学生実習、研究フィールドとしての活用開始
- ・ 地域の中学校間の交流

企業

- ・ CSR活動としての参画開始
- ・ 商品開発、販売協力
- ・ 社員研修実施

市民・市民団体

- ・ 観察会、各種活動支援
- ・ ガイド活動開始
- ・ 情報発信協力

実施ロードマップ：中期（2031-2035年度）

魅力ある地域づくりの広がり

本格実施・拡大期の主体別役割

各自治体

- ・環境学習の他校、他学年展開
- ・観光事業本格化
- ・地域ブランド確立
- ・情報発信、PR活動
- ・庁内連携体制の強化

県

- ・人材育成、講師派遣支援
- ・観光事業支援
- ・情報発信、PR活動

河川事務所

- ・自然再生事業の評価
- ・維持管理体制確立
- ・エコロジカルネットワークの形成
- ・情報発信、PR活動

教育機関

- ・研究の充実
- ・研究成果発信
- ・専門人材輩出

企業

- ・参画内容の充実
- ・新規ビジネス創出
- ・雇用創出効果発現

市民・市民団体

- ・各種活動参加及び企画運営
- ・専門性向上
- ・他地域との交流拡大

成果目標：目標達成を測る指標

定量的指標

項目	現状	短期目標(2030年度)	中期目標(2035年度)
環境学習参加者数	200名/年	350名/年	500名/年
エコツアー参加者数	0名/年	●●●名/年	●●●●名/年
自然再生地の認知度	●千人/年	●●千人/年	●●●千人/年
企業・団体連携数	●団体	●●団体	●●●団体

※目標が未定のエコツアー参加者数、自然再生地の認知度、企業・団体連携数については、今後設置を予定しているワーキングにおいて具体化していく

定性的指標

- 希少生物の生息状況維持・改善
- 地域住民の環境意識向上
- 自治体間連携の強化
- 持続可能な運営体制の構築
- 全国モデルとしての認知度向上

指標の見直し

指標については、運用しつつ定期的に適切であるかを確認し、必要に応じて見直しを行う。

- 年次報告書で評価
- 推進協議会での進捗確認
- 必要に応じた指標の見直し
- PDCAサイクルの実践

実施上の留意事項

1. 予算確保

- ・各自治体の財政状況を考慮し、費用負担や効果を検討して取り組む
- ・企業版ふるさと納税等の活用を検討
- ・市民団体等への活動資金の紹介
- ・国や県の補助金制度等を積極的に活用

2. 庁内連携体制の構築

- ・現在勉強会に参加している部門を主担当としつつ、観光や企画部門等と連携
- ・定期的な庁内連絡会議の開催
- ・各部門の役割分担の明確化

3. 人材確保・育成

- ・自治体職員による運営を基本としつつ、専門家の支援を活用
- ・退職教員、地域住民等のボランティア活用
- ・指導者養成講座の開催

4. 情報発信の強化

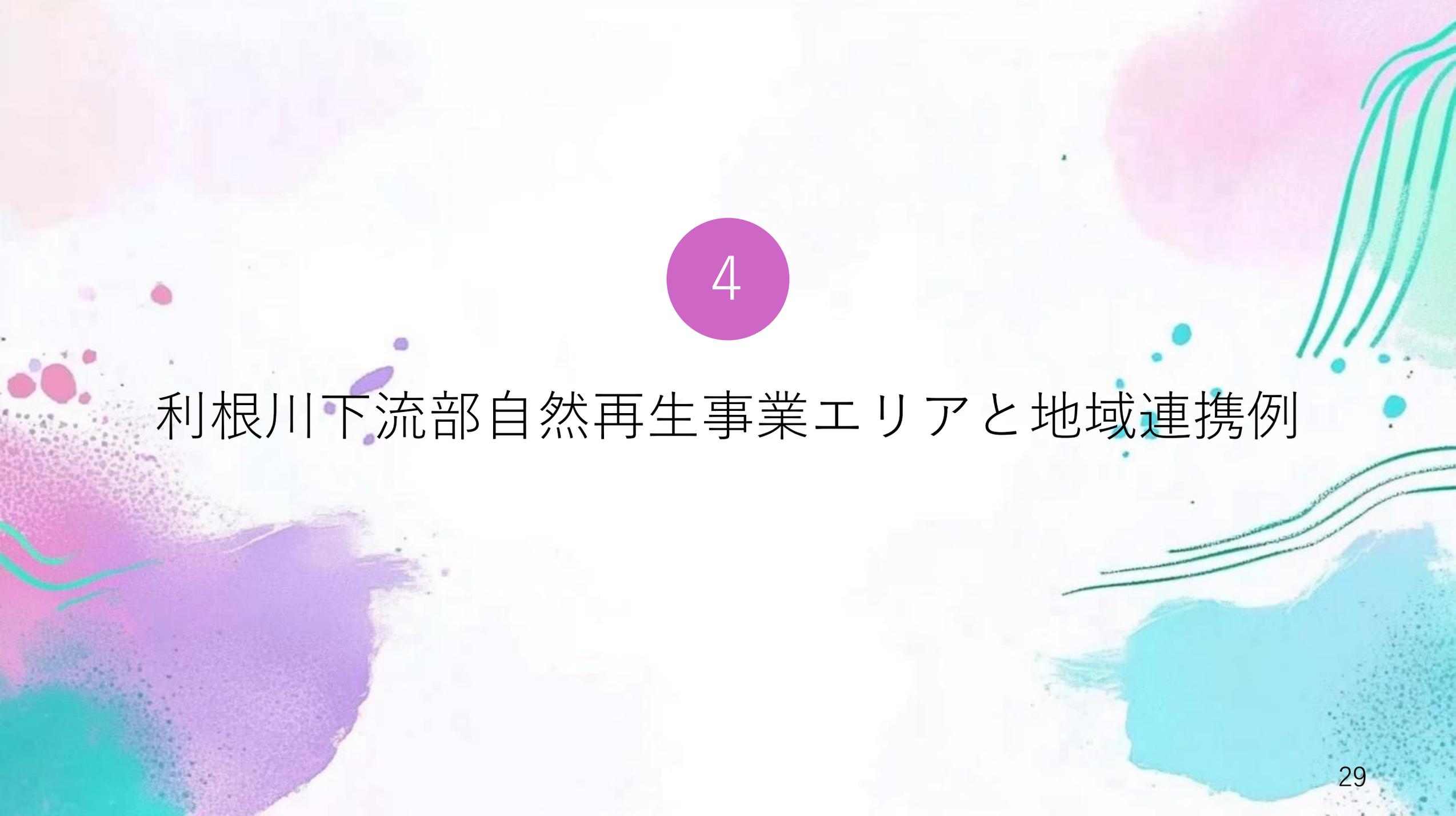
- ・エコネットの取組内容の周知徹底
- ・各自治体の広報誌、HP、SNSでの定期的な情報発信
- ・メディア、報道機関への積極的な情報提供

5. 段階的な取組の推進

- ・環境学習や現地見学会など実施可能な取組から開始
- ・成果を確認しながら段階的に拡大
- ・各自治体の状況に応じた柔軟な対応

6. 県との連携

- ・県の役割を明文化し、効果的な支援を実施
- ・関係部署との連携強化
- ・定期的な情報共有と調整



4

利根川下流部自然再生事業エリアと地域連携例

環境学習フィールドとしての活用

香取中学校



東庄中学校



波崎第二中学校



利根川

銚子西中学校





参考：地域連携イメージ

利根川堤防及びその周辺整備を行うことにより、環境資源（自然再生地）や各自治体における観光資源とのネットワーク化を図る。

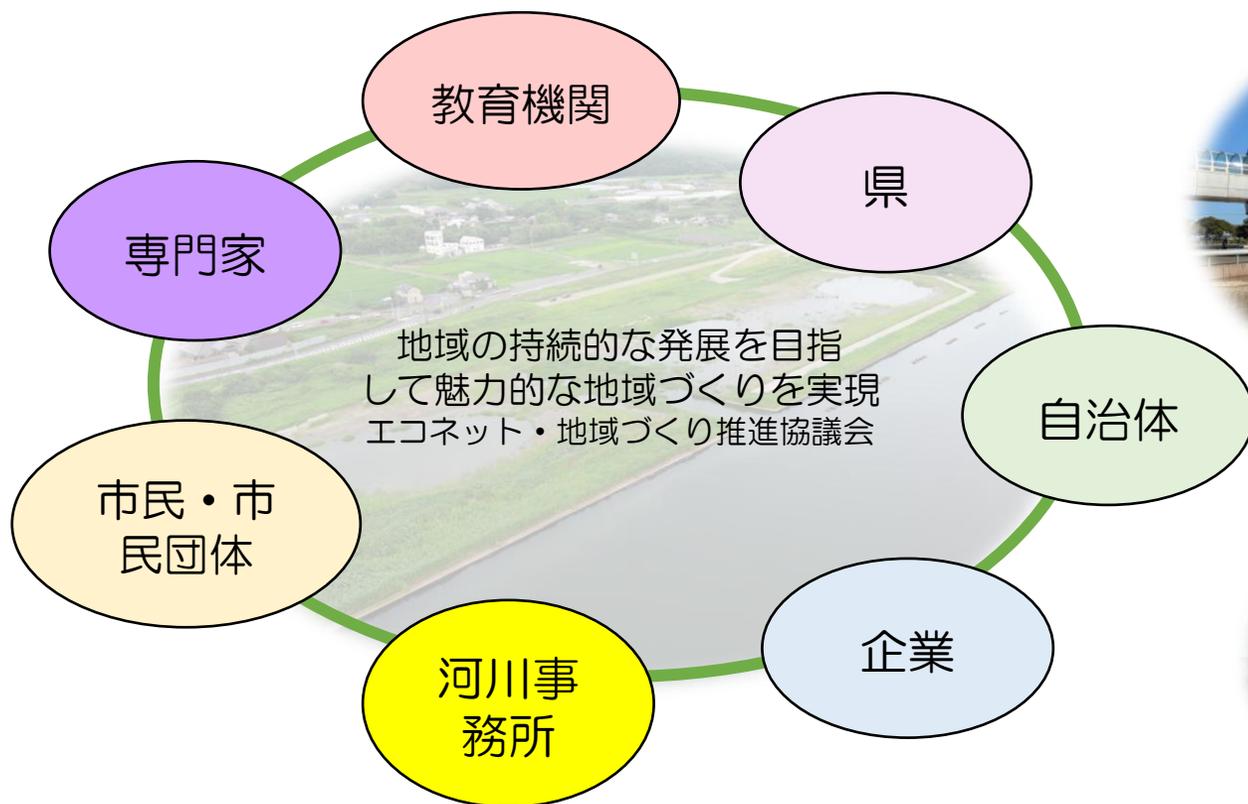


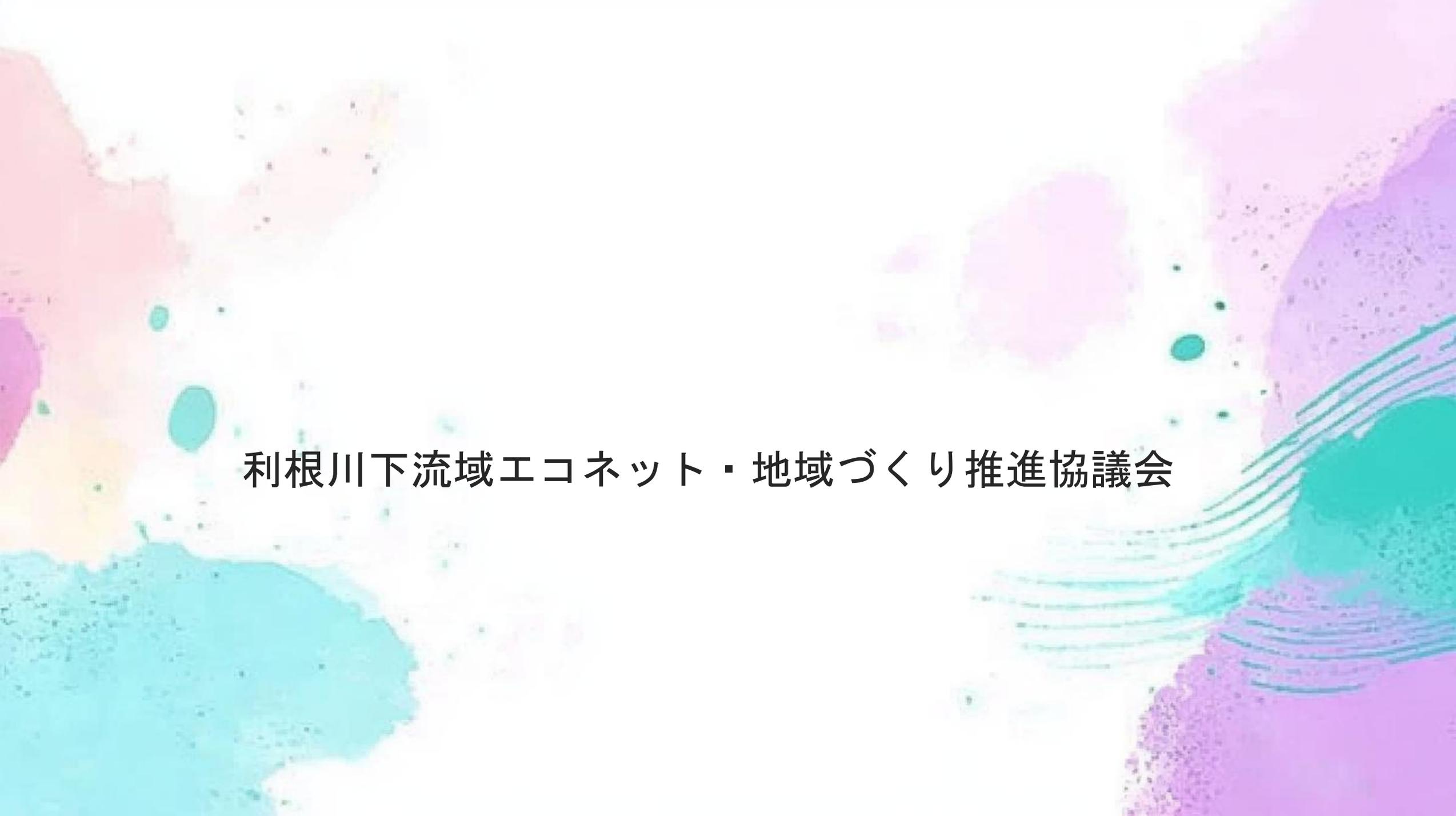


5

おわりに

本アクションプランは、利根川下流域の豊かな自然環境を保全しながら、地域の持続可能な発展を目指すものである。各自治体の特色を活かしつつ、流域全体での連携を深めることで、人と自然が共生する魅力的な地域づくりを実現していく。





利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会